

Minami Kyushu University Junior college Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	国際教養学科					
科目名称	プレゼンテーション概論					授業形態	講義			
科目コード	531130	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	柚木崎 千春								ICT活 用	
授業概要	<p>プレゼンテーションの最大のポイントは、「相手と自分との心に共感が生じ、相互同調が発生すること」という考え方があります。それはコミュニケーションスキルに影響されるため、効果的なコミュニケーションとプレゼンテーションの関係について学びます。プレゼンテーションの成功は、「プレゼンテーション目的の明確化」から始まるので、社会人となる学生自らが、生活圏内にある身近な場面（具体例）を見つけ、コミュニケーションスキルとプレゼンテーションスキルの関係を理解します。企業における実務で、プレゼンテーションとコミュニケーション共に必須のスキルです。それぞれのスキル向上の必要性を具体的に示しながら理解を深める授業を目指します。授業の中で理解度を確認しながら、対話型の授業を行います。</p>									
関連する科目	プレゼンテーション演習									
授業の進め方 と方法	<p>プレゼンテーションとは、デジタルのプレゼンテーションツールを用いて視覚効果を意識しながら発表することと認識している学生が少なくない。 間違いではないが、本来プレゼンテーションとコミュニケーションは切り離すことはできないことを認識してもらいそこから授業が始まる。パソコンや携帯端末があれば情報収集から人間交流も簡単にできそうな時代である。さて、そのような時代だからこそ、人と人との意思の疎通、双方の通じ合い、つまりコミュニケーションが重要であると考え、コミュニケーション技法としてプレゼンテーションを捉え授業計画に沿って学びを進めていく。</p>									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション（授業の進め方、テキストの使用方法、評価方法、課題レポートについて）									
授業計画 【第2回】	プレゼンテーションとコミュニケーションについて									
授業計画 【第3回】	コミュニケーションセンスをチェック（自己紹介を振り返る）									
授業計画 【第4回】	コミュニケーションの基本を知る									
授業計画 【第5回】	CM（コマーシャルメッセージ）を分析（送り手と受け手）する									
授業計画 【第6回】	正しい言葉遣いの基本									
授業計画 【第7回】	効果的な話し方Ⅰ：効果的に話す「明確・整理・工夫」									
授業計画 【第8回】	効果的な話し方Ⅱ：話の構成									
授業計画 【第9回】	表現力を身に付ける									
授業計画 【第10回】	聞くことの重要性									
授業計画 【第11回】	ビジネスコミュニケーション									

授業計画【第12回】	論理的思考の基礎
授業計画【第13回】	論理的思考・表現力の訓練
授業計画【第14回】	「コミュニケーション検定」を意識した理解度確認テスト・解答例と解説
授業計画【第15回】	様々なコミュニケーション場面 コミュニケーションスキルとプレゼンテーションスキルの関係・効用を確認する
授業の到達目標	① 本授業の学習を通じて、日常生活の中にあるコミュニケーション場面を意識する。 ② 対人コミュニケーションの重要性について理解を深めることができる。 ③ 効果的なプレゼンテーションにはコミュニケーションスキルの高さが求められることを理解し自ら考え表現できる。
学修成果との関連	1. 自ら考える能力を有する。／3. 現代社会に関する基本的知識を有する。
授業時間外学習【予習】	【予習】（1時間程度） 予習は毎回の授業で予告されるテーマや課題について、事前準備をする。 授業で学習したことを復習し応用することが次回の授業に繋がるので、そのための時間を確保することが望ましい。
授業時間外学習【復習】	【復習】（1時間程度） 授業で学習したことを復習し応用することが次回の授業に繋がるので、そのための時間を確保することが望ましい。
課題に対するフィードバック	・提出されたレポートの評価と必要に応じて課題の情報共有と振り返りを授業中に実施します。
評価方法・基準	定期試験（40点） 課題提出（40点） 授業への取り組み（20点）
テキスト	『コミュニケーション技法』プレゼンテーション学研究会編集（株）ウイネット
参考書	必要に応じて図書、資料を紹介します。
備考	・「コミュニケーション検定」受験希望者は担当教員に照会のこと。 ・企業において実務経験を有する教員が本授業を担当します。